

愛知学泉大学 ディプロマ・ポリシー（入学者受け入れの方針）

□ライフスタイル学科 アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

ライフスタイル学科では、以下の5つの中の3つ以上に該当する人を求めています。

- (1)暮らしに係る様々な事象に強い関心を抱いている。
 - (2)より良い生活のあり方を提案しうる能力を持った生活者として社会に貢献したいという意欲を持っている。
 - (3)衣・食・住のエキスパートとして社会に貢献したいという意欲を持っている。
 - (4)地域活性のエキスパートとして社会に貢献したいという意欲を持っている。
 - (5)中学・高校も家庭科教員として主体的に学び続ける生徒を育成したいという意欲を持っている。
- そこで、次に掲げる人を積極的に受け入れます。

（A）学力の3要素

（A－1）基礎的・基本的な知識・技能について

家庭、国語、数学、生物・化学、地歴・公民に関する高等学校卒業レベルの基礎学力を身に付けている。

（A－2）知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について

①（思考力）

日常生活の中から問題を発見し、その問題の原因を分析することができる。

②（判断力）

他者の考えも尊重し、自分の考えと合わせて課題を見出すことができる。

③（表現力）

適切な表現方法を選択し、自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。

（A－3）主体的に学習に取り組む態度について

粘り強く取り組むだけでなく、自分の理解度を把握した上で、どうやったら学習の成果が現れるか試行錯誤する姿勢を持っている。

（B）行動特性について

①（前に踏み出す力）

主体性…自ら成すべきことを考え、積極的に取り組むことができる。

実行力…自分の定めた目標に向かって粘り強く取り組むことができる。

②（考え抜く力）

課題発見力…目標を達成するために取り組まなければならない課題を見出すことができる。

創造力…身につけた知識・技能を最大限に発揮することができる。

③（チームで働く力）

発信力…自分の意見をわかりやすく整理し、適切な方法・手段で伝えることができる。

傾聴力…内容を整理しながら聴き、わからないことは進んで質問をすることができる。

規律性…社会のルールに則り、自らの言動を適切に律することができる。

□管理栄養学科 アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

管理栄養学科では、以下の5つの中の3つ以上に該当する人を求めています。

- (1) 栄養学に強い関心を抱いている。
- (2) 管理栄養士として「疾病治療」の分野で社会に貢献したいという意欲を持っている。
- (3) 管理栄養士として「疾病予防」の分野で社会に貢献したいという意欲を持っている。
- (4) 管理栄養士として「食育・食環境の整備」の分野で社会に貢献したいという意欲を持っている。
- (5) 「食」の専門家として、人々の日常生活を健康の面から支援したいという意欲を持っている。

（A）学力の3要素

（A－1）基礎的・基本的な知識・技能について 家庭、生物・化学、国語、数学、英語に関する高等学校卒業レベルの基礎学力を身につけている。

（A－2）知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について

①（思考力）

日常生活の中から食を取り巻く課題を発見し、それらの課題に対して自分の考えを持つことができる。

②（判断力）

他者の考えも尊重し、自分の考えと合わせて課題を見出すことができる。

③（表現力）

適切な表現方法を選択し、自分の考えを厚労省にわかりやすく伝えることができる。

（A－3）主体的に学習に取り組む態度について

粘り強く取り組むだけでなく、自分の理解度を把握した上で、どうやったら学習の成果が現れるか試行錯誤する姿勢を持っている。

（B）行動特性について

①（前に踏み出す力）

主体性…自ら成すべきことを考え、積極的に取り組むことができる。

実行力…自分の定めた目標に向かって粘り強く取り組むことができる。

②（考え抜く力）

課題発見力…目標を達成するために取り組まなければならない課題を見出すことができる。

創造力…身につけた知識・技能を最大限に発揮することができる。

③（チームで働く力）

発信力…自分の意見をわかりやすく整理し、適切な方法・手段で伝えることができる。

傾聴力…内容を整理しながら聴き、わからないことは進んで質問をすることができる。

規律性…社会のルールに則り、自らの言動を適切に律することができる。

□こどもの生活学科 アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

こどもの生活学科では、以下の５つの中の３つ以上に該当する人を求めています。

- (1) 子どもの生活環境に関して関心を抱いている。
- (2) 保育分野の専門家として社会に貢献したいという意欲を持っている。
- (3) 教育分野の専門家として社会に貢献したいという意欲を持っている。
- (4) 他者との関わりを大切に、相手の立場に立って考え、行動できる。
- (5) 自身の潜在能力をさらに開発し、地域の課題解決に率先して参画したいと思っている。

そこで、次に掲げる人を積極的に受け入れます。

(A) 学力の３要素

(A－１) 基礎的・基本的な知識・技能について

家庭、国語、数学、生物・化学、地歴・公民に関する高等学校卒業レベルの基礎学力を身に付けている。

(A－２) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について

①（思考力）

日常生活の中から課題を発見し、それらの課題に対して自分の考えを持つことができる。

②（判断力）

他者の考えも尊重し、自分の考えと合わせて課題を見出すことができる。

③（表現力）

本学の掲げる四大精神を実践し、自己の特性を伸ばしつつ、社会に貢献したいと考えている。

(A－３) 主体的に学習に取り組む態度について

粘り強く取り組むだけでなく、自分の理解度を把握した上で、どうやったら学習の成果が現れるか試行錯誤する姿勢を持っている。

(B) 行動特性について

①（前に踏み出す力）

主体性…自ら成すべきことを考え、積極的に取り組むことができる。

実行力…自分の定めた目標に向かって粘り強く取り組むことができる。

②（考え抜く力）

課題発見力…目標を達成するために取り組まなければならない課題を見出すことができる。

創造力…身につけた知識・技能を最大限に発揮することができる。

③（チームで働く力）

発信力…自分の意見をわかりやすく整理し、適切な方法・手段で伝えることができる。

傾聴力…内容を整理しながら聴き、わからないことは進んで質問をすることができる。

規律性…社会のルールに則り、自らの言動を適切に律することができる。